

子どもを 性被害から 守る

私たち
おとなが
すべきこと



子どもへの性暴力の加害者が、教師・ベビーシッター・家族など
子どもの身近な人という報道が相次いでいます。しかし、このように
表面化した性犯罪は、実際に起こっている性暴力のほんの一部です。
被害を受けた子どもは、伝える言葉もなく、一人で「怖い秘密」
を抱え込んでいます。被害自体を認識していないかもしれません。
今、私たちおとなは何ができるか考えます。

参加費
無料
要申込

2021年

2月27日(土)

14:00~16:30 (開場 13:40)

会場

アミュゼ柏 クリスタルホール
千葉県柏市柏6丁目2番22号

定員

150人 (要申込・先着順)

講師
小笠原和美さん

慶應義塾大学総合政策学部教授
専門 社会安全政策、性暴力、ジェンダー
(元・警察庁刑事局捜査支援分析管理官)



申込み・お問合せ

キャップ
CAPなのはな事務局

TEL 070-6513-7087

MAIL cap_nanohana-entry@yahoo.co.jp

主催：CAPなのはな

後援：柏市・流山市・松戸市・我孫子市・鎌ヶ谷市・野田市各教育委員会、
柏市社会福祉協議会、流山市社会福祉協議会

お申し込みの際は
左記の電話・ショートメール、
Eメールのいずれかにて
①～③をお知らせください

- ①お名前
- ②電話番号
- ③メールアドレス



Eメール申し込み用
フォーム

子どもを性被害から守る

～私たちおとながすべきこと～

講師 小笠原 和美さん

profile

1994年警察庁入庁。福島県警察警務部長、北海道警察函館方面本部長、警察庁刑事局捜査支援分析管理官等を歴任。

2008年から性暴力問題に取り組み、医療機関を拠点とする性暴力被害者支援スキームの立上げ（SACRA ふくしま / 函館・道南 SART）、子どもを性被害から守るための協議会（函館性暴力被害防止対策協議会）の発足など、各地で様々な立場の人や組織と連携し、地域の力で子どもたちを守る仕組みをプロデュース。

幼児期の子どもにプライベートゾーンに関する知識と勇気を贈る絵本『おしえて! くもくん プライベートゾーンってなあに?』を全面監修。

2020年4月より慶應義塾大学総合政策学部教授。



CAPとは

Child Assault Prevention（子どもへの暴力防止）

の頭文字をとったもので、

子どもたちがいじめ、痴漢、誘拐、虐待、性暴力といった

さまざまな暴力から自分を守るための人権プログラムです。

安心・自信・自由の人権を子どもたちに繰り返し伝えることで、すべての子どもたちが本来持っている「生きる力」を引き出すプログラムです。学校や保育園・幼稚園をキーステーションとして、子ども・教職員・保護者にワークショップを提供します。

おとなワークショップ

子どもを孤立させないように、学校・家庭・地域がつながって、子どもを援助するために何ができるかを考えます。

子どもの話をどのように聴いたらいいのかなど、具体的な方法を盛り込んでいます。

子どもワークショップ

子どもの年齢や発達段階にあわせ、寸劇・歌・人形劇・討論などを盛り込んで、子どもを怖がらせることなく暴力防止の具体的な対処方法を伝えます。

従来の「～してはいけません」式の危険回避の方法とは根本的に異なり「～することができるよう」と、身を守るための行動の選択肢を広げ、練習します。

講演会にご参加の方へ

- ・新型コロナウイルス感染の影響などにより、急ぎょ中止となる場合もあります。その際は事前にお知らせいたします。
- ・当日、発熱等体調のすぐれない方はご参加をお控えください。
- ・会場に来る際は、感染予防のための対策を各自で行ってください。
- ・会場に到着したら、入室前に手洗い等をしてください。
- ・マスクの着用をお願いいたします。

CAPプログラムについてのご相談は

キャップ
CAPなのはな

東葛地域（柏・我孫子・鎌ヶ谷・流山・野田・松戸）を中心に 2001 年から活動しています。

2001～2019年の19年間で

子どもワークショップ 976回 / 26,030人

おとなワークショップ 457回 / 15,213人

に CAP を届けました